

第31回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日時：2009年9月15日（火）14時05分～16時00分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、鬼沢委員、小島委員、辰巳委員、細田委員、米澤委員 以上6名出席
その他（財）自動車リサイクル促進センター事務局（議案説明者を含む）、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題：①平成21年度第1四半期（4～6月）決算報告について
②平成21年度第1四半期の運用の評価について
③資金管理料金の11年展開について
④輸出返還事務センターに係る入札仕様書等作成の支援事業者の選定結果について

（1）議題①について

平成21年度第1四半期の決算報告について、資料3-1から資料3-7を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。

委員からは次のような意見があった。

<意見> （注）○は委員、●は事務局

- 輸出返還台数が減少しているのは輸出台数が減少しているためであるが、その理由は何か。
- 主としてロシアの輸入規制によるものと推測される。
- 国内の使用済自動車の引取状況はどうなっているか。
- 前年度並みの水準に戻っている。
- 資金管理料金特別会計の財産目録における未収入金の中に一般会計未収入金とあるのは何か。
- 自動車製造業者・日本自動車輸入組合が全額負担している基盤的経費にあたる人件費等と半額負担している事業費等にあたるシステム費等の資金管理センター運営に要する費用は、本財団事務統括部の一般会計経由で資金管理センターに入金されるが、このうち資金管理センターに未入金分を一般会計未収入金として計上している。
- 資金管理料金特別会計の正味財産増減計算書の事業費の中で、その他の事業費だけが前年度より上回っているが、その他の事業費とは何か。
- 自動車ユーザーにリサイクル料金等の預託証明を行うために、自動車の登録情報等のデータを購入している費用等である。

(2) 議題②について

平成21年度第1四半期の再資源化預託金等の運用評価について、資料4-1、4-2を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。

委員からは次のような意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 従来は格付け制限のある債券を財投機関債・地方債・社金債に細分化して取得していたが、今年度から格付け制限あり債券に統合したことによって、現在は支障なく円滑に取得している。
- 別添資料ラダー型資産構成目標イメージの図に、保有債券年限別がどのような債券種別で構成されているかも示せないか。
- 別添資料は年限別のラダー構築状況を示すことを目的として作成している。年限別の債券種別構成は次回諮問委員会から別資料として提出することを検討する。
- 新車販売の減少に伴う預託金収入の減少によって、例えば10年限の債券を700億円ぐらいしか積み上げできなくなった場合、他年限の債券を売却してラダーを構築するのか。
- 債券の売却は行わないため、ラダーを構築することができないこともあり得る。

(3) 議題③について

資金管理料金の11年収支均衡計画について、資料5-1、5-2を使用して事務局から報告した。

委員からは次のような意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- システム保守費が計画に対してかなり大きくなった理由は何か。
- システム構築のときのインシヤルコストが、当初見込みよりかなり大きくなったことによるもの。
- システム保守費が、今後どれくらいかかるか示してほしい。
- 担当部において精査する。

(4) 議題④について

輸出返還事務センターに係る入札仕様書等作成の支援事業者の選定結果について、資料6を使用して事務局から報告した。

委員からは次のような意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 輸出返還事務センターに係る入札についての説明責任を担保するために

は必要なこと。

- 他にもどのような業務をアウトソーシングしているのか整理してほしい。
- 検討する。

以上